

「注意」

このユーザーマニュアルは元英語マニュアルを基に翻訳されたものです。
内容が部分的に異なったり、間違いがある可能性がありますのでご了承ください。
もしご質問や不明点ありましたらこちらのメールアドレスにご連絡をお願いいたします

befaco.jp@befaco.org

CHOPPING KINKY

ユーザー・マニュアル

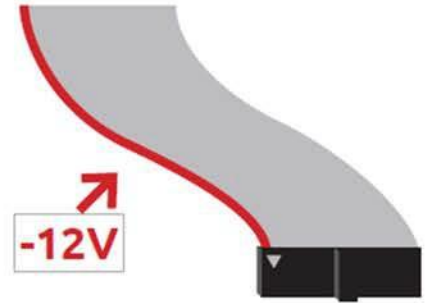


電源

BEFACOからモジュールを購入していただきありがとうございます！
このモジュールを使う前にこのマニュアルをお読みください。

1. 接続するモジュラー収納ケースの電源コードを外してください
2. 電源コードの極性をしっかりご確認ください。ケーブルの色付きの線(ピン番号1)は-12Vレールです。
3. モジュールを逆向きに差し込むと壊れる可能性がありますのでご注意ください。
(この場合は保証対象外になります)
4. この製品についてご質問ありましたら、こちらにお問い合わせください

befacojp@befaco.org



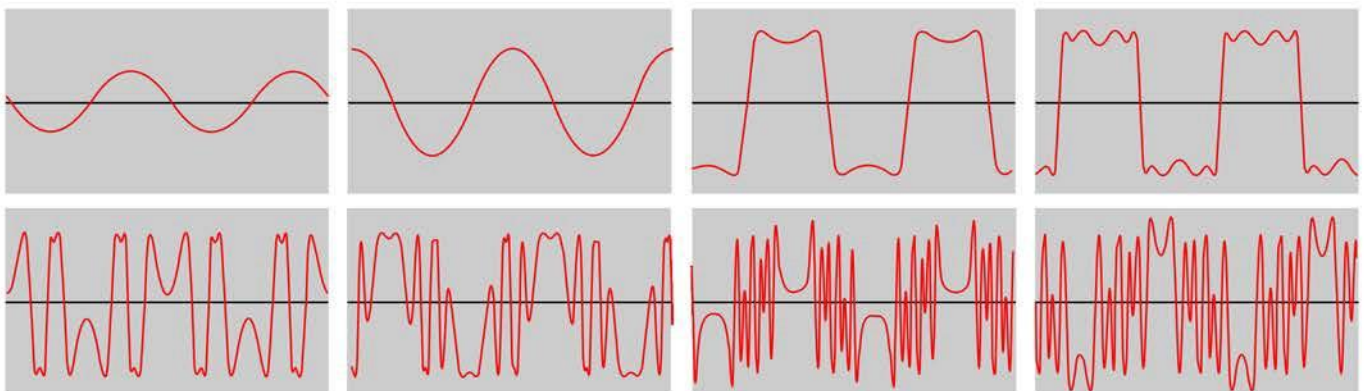
イントロ

チョッピングキンキーは電圧制御可能なデュアルチャンネルウェーブフォルダーです

Chopping Kinkyは、CVコントロール可能なデュアルチャンネル・ウェーブ・フォルダーです。Chopping Kinkyにユニークな「Chop out」出力が付いており、外部のゲート信号もしくはゼロクロス検出器に従ってA/Bチャンネル出力を切り替える機能です。

ウェーブ・フォルダーは、単純な信号をより豊かで動的なものに加工する回路です。お馴染みのフィルター回路と真逆の役割で、信号に倍音を追加し、音作りにとっても便利な機能です。

Chopping KinkyはDC結合されているため、CVとオーディオの両信号を使って、オーディオ信号に倍音を増やしたり、LFOやエンベロープを簡単に作れます。

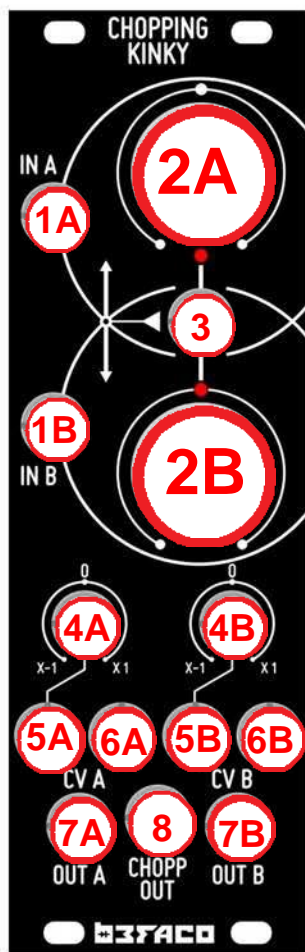


振幅が増加するときにサイン波がこういうふうに「フォールド」されます

スペック

Eurorack互換

- 必要な電源: +12V: 65mA, -12V: 55mA
- 幅: 8HP
- 奥行: 30mm (電源コネクタを含めて)



5A/B. ATTENUVERTER INPUTS FOR CHANNEL CV CONTROL

CVの入力は、各チャンネルの減衰器を制御します。

6A/B. CHANNEL CV CONTROL INPUTS

各チャンネルの別のCVコントロールのセットは、両方のチャンネルの内部VCAに直接ルーティングされますが、減衰器をバイパスします。

7A/B. CHANNEL OUTPUTS

チャンネルAおよびBの出力。これは、すべての波形加工が行われた後のシグナルチェーンの終わりです。

8. CHOPP OUT

この出力は、内部スイッチの設定によってチャンネルAまたはチャンネルBを出力（詳細については、次のページを参照してください）。

1A/B. WAVEFOLDER CHANNEL INPUTS

2つのウェーブフォルダーチャンネルの入力（オーディオまたはCV）。各チャンネルのウェブシェイパーが異なります。

2A/B. MANUAL GAIN/SHAPE CONTROLS FOR WAVEFOLDER CHANNELS

2つの波形チャンネルの手動コントローラー。

3. CHOPP OUT CHANNEL SELECT GATE INPUT

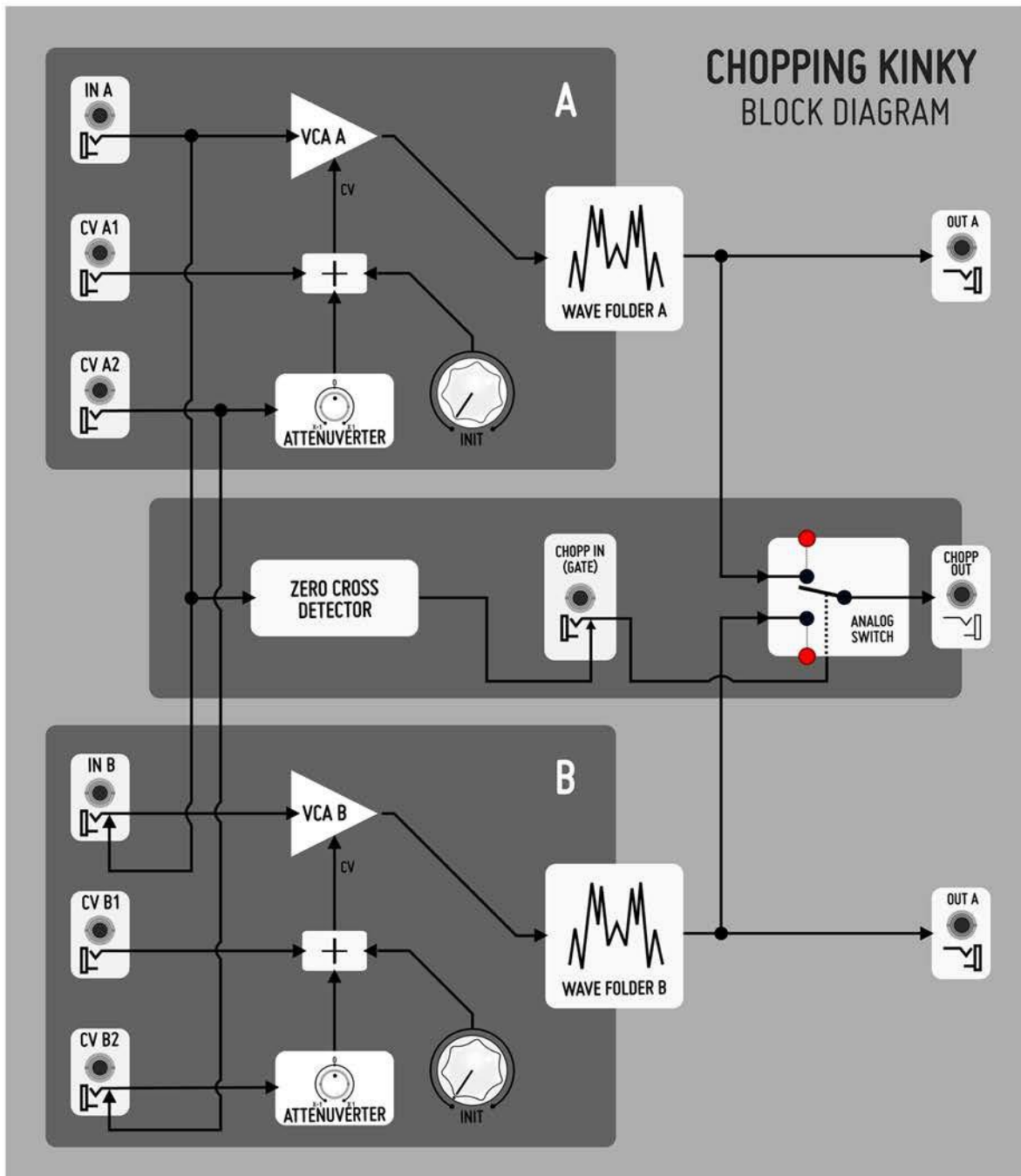
CHOPP OUTチャンネル選択用のゲート入力。ゲート信号がない場合はゼロ・クロスで自動的にチャンネルを選択する。ゲート信号ある場合がチャンネルAに接続されます。

4A/B. CHANNEL CV CONTROL ATTENUVERTER MANUAL CONTROL

各チャンネルのCV減衰器の手動コントローラー。

ブロック図

回路接続表



ブロック図の説明

上のブロック図では、2つの別々のウェーブフォルダー・チャンネルと、そしてその間にCHOPPセクションが表示されます。

各ウェーブフォルダーには、信号入力INと2つのCV入力があり、そのうちの1つは減衰気(Attenuverter)を通過します。ウェーブフォルダーのレベルは各チャンネルのCV入力とVCAで設定されます。

各チャンネルの出力はCHOPPセクションの内部アナログスイッチにも送られます。CHOPP入力にゲート信号が入力されているまたはチャンネルのAC電力は0Vを超える場合は、スイッチはチャンネルAに接続されます。そうでない場合チャンネルBに接続されます。